

平成21年度雪セミナー

日時 平成21年11月17日(木) 14時15分から16時30分まで

会場 福島県会津若松市白虎町201 「会津若松ワシントンホテル(双鶴)」

日程

13:30 受付開始

14:15 開会

主催者あいさつ 財団法人日本積雪連合事務局長、全国積雪寒冷地帯振興協議会事務局長 横山 好古

歓迎あいさつ 会津若松市長 菅家 一郎 氏

14:30 講演・自治体等の雪対策の取組み発表

「雪害対策救助員制度について」

長野県栄村 村長 島田 茂樹 氏

「雪氷災害の被害の軽減をめざす防災科学技術研究所の取組みについて」

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所

新庄支所長 佐藤 威 氏

「雪かきボランティアツアーをはじめとする集落サポート活動の実際

～活動の現場から見えてくる、今後の取組みへのヒント～」

株式会社 祭 代表取締役 佐野哲史 氏

16:30 閉会

主催：財団法人日本積雪連合 / 全国積雪寒冷地帯振興協議会

後援：福島県 / 会津若松市 / 福島県雪対策協議会

平成21年度雪セミナー講演概要

「雪害対策救助員制度について」

長野県栄村 村長 島田 茂樹 氏

長野県栄村は、世帯数900余戸、人口2,300人余、集落数31の小さな村です。高齢化と過疎化によって、160世帯は自力で住宅屋根の雪下ろしや、住宅周辺の除排雪が困難な世帯となっています。雪害対策救助員制度は、12月15日～3月31日まで、村の要綱により非常勤特別職として救助員15名を委嘱しています。この15名は5班編成で各集落の高齢者世帯、公共施設等の除排雪作業を順番に行ないます。住民が、豪雪地帯であっても今住んでいるところで安心して暮らせるよう、安全と生活環境の維持向上を図り“一人ひとりが輝く元気な村”づくりを目指しています。

「雪氷災害の被害の軽減をめざす防災科学技術研究所の取り組みについて」

(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所 新庄支所長 佐藤 威 氏

温暖化とともに雪が少なくなってきたと言われて久しいが、雪氷災害がなくなったわけではありません。特に「平成18年豪雪」では、雪国の社会の変化とも相俟って多くの犠牲者を出しました。このような雪氷災害による被害を軽減するため、防災科学技術研究所が取り組んでいる雪氷災害の発生メカニズムや雪氷災害発生予測システムなどの研究を紹介します。

「雪かきボランティアツアーをはじめとする集落サポート活動の実際

～活動の現場から見えてくる、今後の取り組みへのヒント～

株式会社 祭 代表取締役 佐野哲史 氏

株式会社祭は、2007年7月より、新潟県の各地にボランティアを派遣してきました。また、2008年4月より、十日町市と妙高市において市役所と協働してまちづくりに関する集落サポートを展開してきております。これらの活動の現場から生まれた「気付き」を基に、今後の集落サポート活動へのヒントについて紹介します。